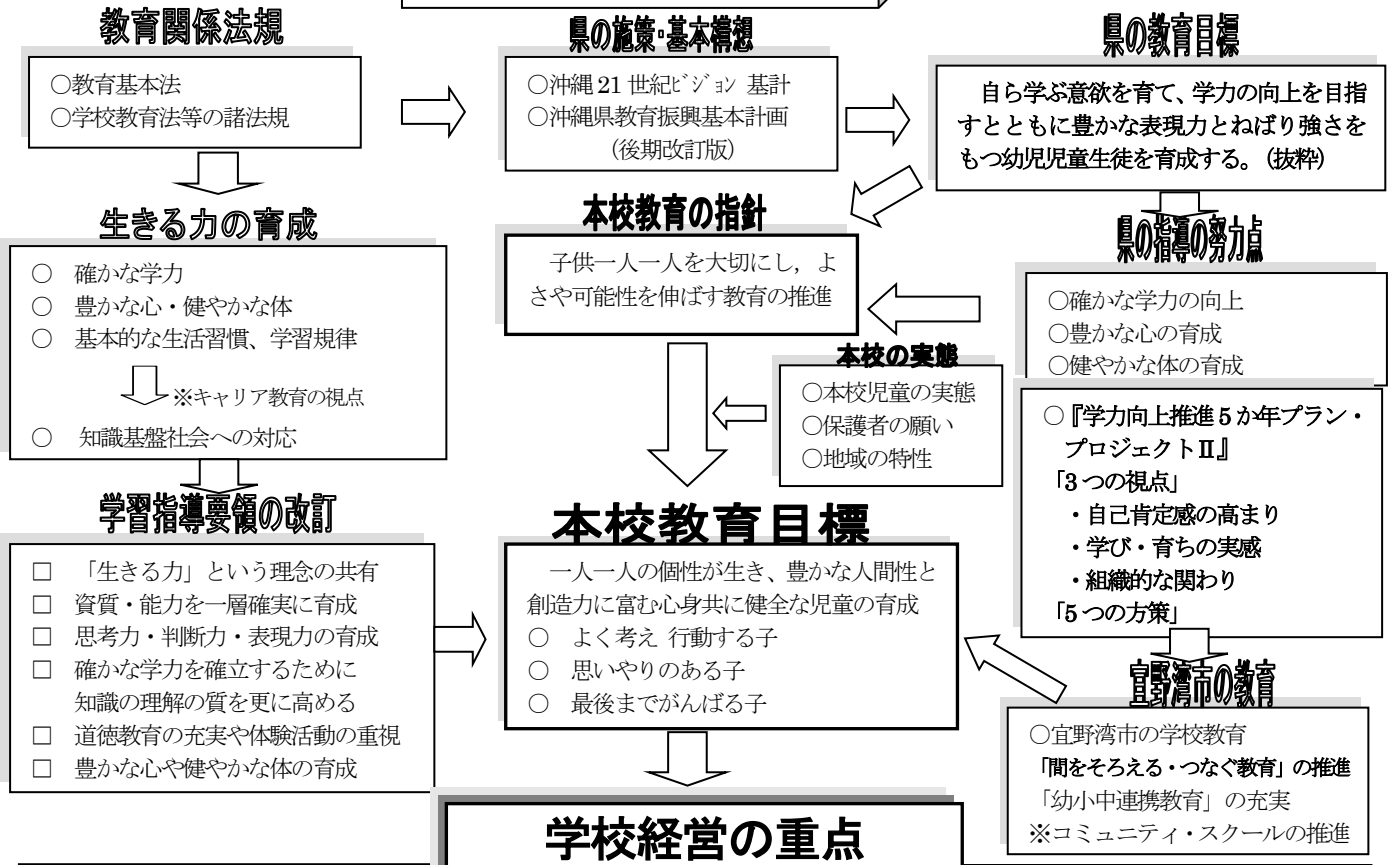


1 本校教育の全体構想

本校教育の全体構想



1, 学習指導要領の全面实施 主体的・対話的で深い学びの実現

カリキュラムマネジメントによる

- (1) キャリア教育の視点を踏まえた学力向上の推進
- (2) 「わかる授業」の構築による学力向上の推進
(授業改善方策による主体的・対話的で深い学び)
- (3) 基礎的・基本的な知識・技能を活用することにより、思考力・判断力・表現力等の育成を図る。
- (4) 学習効果を上げるための支持的風土を大切にする学級経営の充実を図る。
- (5) 学習を支える力の育成を図る。
- (6) 国際理解教育・外国語教育の充実を図り、コミュニケーション能力を育成する。
- (7) 情報活用能力の育成と情報モラルの指導の充実を図る。
- (8) 学力向上マネジメントによる「自己管理型評価システム」の推進

- 3 食育の推進
- 4 「環境教育」(ピオトープ)の推進
- 5 家庭・地域との連携を図り、信頼される学校づくりの推進
- 6 生徒指導の充実
- 7 特別支援教育の推進
- 8 幼小中連携の充実

地域・信頼される学校関係者・保護者・関係機関との連携による推進

2, 目的の明確化と自律的活動の推進により、 自他を認め・高め合う児童の育成

- (1) 豊かでたくましい心と体を育む教育の充実を図る。
 - ① 基本的な生活習慣、学習習慣の確立を図る。
 - ② 人権・道徳教育の充実を図る。
 - ③ 学年毎の目標冊数の設定と読書感想等で読書の質を維持し、豊かな心を育む読書活動を推進する。
 - ④ 自然災害教材等を活用し、命の尊さや助け合い、思いやりの心を育む指導の充実を図る。
 - ⑤ 情報公開及び教師の指導技術の向上を目指し、年一回の道徳公開授業を行う。
 - ⑥ 諸資料から体力的な課題を明確にし、教育活動全体を通じて体力の向上を図る。
 - ⑦ 学校保健委員会からの具体的指導助言を活かし、課題解決を推進する。
 - ⑧ 全職員体制で、学校施設や児童の安全管理を徹底する。
 - ⑨ 児童の発達段階に応じた薬物乱用防止教育に努める。
 - ⑩ 学校・地域の特性を活かした体育的活動として「縄跳び運動」の推進・充実を図る。
 - ⑪ 幼・小・中 共通実践5項目の指導を継続実践する。

学年・学級経営の充実

- | | | |
|--|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な学習能力の育成・定着 <ul style="list-style-type: none"> ・「聴写」指導の徹底、共同実践 ・聞く・発表・ノートのとりの指導 ・家庭学習の指導(予習・復習・ドリル) ・朝の読書・英会話の導入 ・補習指導の徹底(朝・昼の帯タイム) | <ol style="list-style-type: none"> 2 望ましい生活習慣の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・「整える」指導の継続 ・共用スペースでのマナー ・チャイムと共に動く指導の徹底 ・場に応じたあいさつと聞く態度 ・個人目標の活用指導(生活リズム表) | <ol style="list-style-type: none"> 3 学習環境の整備充実 <ul style="list-style-type: none"> ・「清掃手順」の統一実践 ・身近な環境教育の推進 ・掲示教育の充実 ・あいさつ運動・クリーン活動の推進 ・花を育てる活動の推進 |
|--|--|--|

教職員の資質の向上

- 強い情熱・確かな力量・総合的な人間力